

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	岩戸ホーム増改築改修工事	階数	地上4F・地下1F
建設地	京都府福知山市字猪野々小字後峠	構造	S造
用途地域	都市計画区域外、防火指定なし	平均居住人員	114人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	飲食店、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年7月21日
敷地面積	9,990㎡	作成者	
建築面積	3,470㎡	確認日	2016年7月28日
延床面積	3,560㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

環境品質 **Qのスコア = 2.4**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.0**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合	外観は既存建物との調和を考慮し、高齢者にとって快適で安全な建物となるように計画した。	特になし
Q1 室内環境	外皮に断熱材を施工し、建物の熱負荷軽減に配慮した。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	天井を高くし、ゆとりのある居住空間となるように計画した。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	周辺のまちなみ風景にバランスよく調和するように、低層分棟配置とした。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	「LR1 エネルギー」	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	「LR2 資源・マテリアル」	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	駐車スペースを適切に配置し、既存緑化部分を極力残すようにした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される